

ネイティブ豚NAD(P)Hデヒドロゲナーゼ（キノン）

Cat. No. NATE-0983

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 DTジアフォラーゼは、還元型二リン酸および三リン酸ピリジヌクレオチドの酸化を触媒するフラボ酵素です。酵素1モルあたり1モルのFADを含んでいます。ラット肝臓に見られるこの酵素は、さまざまな染料やキノンによるNADHおよびNADPHの酸化を触媒します。分子量は約48 kDaであることがわかっています。ラット肝臓から精製された酵素のpH最適値は5.0です。これは、さまざまなキノンの2電子還元を触媒する細胞質内酵素です。ビタミンKをビタミンKヒドロキノンに還元し、翻訳後のγ-グルタミルカルボキシル化反応に利用されます。これらの反応は、血液凝固に関与するいくつかのタンパク質に必要です。

用途 NAD(P)Hデヒドロゲナーゼ（キノン）のジアフォラーゼ活性を利用して、NAD(P)Hおよび多くのデヒドロゲナーゼを測定します。これは、NAD(P)Hから水素を受け取る色素（例：テトラゾリウム塩）と結合させることで行います。

別名 メナジオンレダクターゼ；フィロキノンレダクターゼ；キノンレダクターゼ；デヒドロゲナーゼ、還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（リン酸、キノン）；DT-ジアフォラーゼ；メナジオンオキシドレダクターゼ；NAD (P)H デヒドロゲナーゼ；NAD (P)H メナジオンレダクターゼ；NAD (P)H-キノンデヒドロゲナーゼ；NAD (P)H-キノンオキシドレダクターゼ；NAD (P)H: (キノン受容体)オキシドレダクターゼ

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
外形	硫酸アンモニウム中の黄色懸濁液、3.2 mol/l
CAS登録番号	9032-20-6
活性	>25 U/mg
濃度	10±1 mg/ml
pH安定性	5.5-6.5

保管・発送情報

安定性 仕入れ範囲内で12ヶ月間、+2°Cから+8°Cの範囲で。